

ニホンナシの発芽予測

2026年3月3日 南信農業試験場

< 気象経過 >

- ・2025年10月～2026年2月の気温は高低があったものの、10月後半から12月前半までは平年より低い日が多く、12月後半以降は気温が高い期間と低い期間が交互に訪れた。
- ・2025年10月の日照時間は平年より少ない日が多く、2025年11月～2月は平年より多い日が多かった。
- ・2025年10月～2026年2月の降水量は少なかった。

< 生育状況 >

2025年10月～12月は気温が高く推移しており、自発休眠覚醒に有効な温度（7.2℃以下）に遭遇する時間が少なかったが、生育予測モデルにおける本年の自発休眠から他発休眠への切り替わりは、令和7年と比べて早かった。

表 令和8年産日本ナシ主要品種の自発休眠明け日

	南水	二十世紀	豊水	幸水
R8	1/30	1/28	2/3	1/30
R7	2/2	1/31	2/5	2/2
平年	1/21	1/19	1/24	1/21
平年との差	9	9	10	9

< 生育予測 >

品種ごとの発芽日について、今後の気温が平年並み、-1℃、+1℃、+2℃、+3℃で推移すると仮定した場合を予測した（表）。

3月3日現在、今後の気温が平年並みで推移した場合、発芽は平年並みから3～7日早いと推測される。

2月26日気象庁発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は高いと予想されている。今後の気温が平年よりも2℃以上高く推移した場合、生育は早く進み、発芽は平年と比べて10日程度前進する可能性がある。ニホンナシの生育は今後の気温により大きく変化し、発芽期に近づくほどその影響を強く受ける。今後の気温の推移や、実際の生育に注意する。

表 令和8年3月3日時点での発芽予測日

今後の気温	発芽予測日(平年値との差)			
	幸水	豊水	南水	二十世紀
平年 -1℃	4/3 (0)	3/27 (-4)	4/2 (0)	3/31 (-1)
平年並み	3/31 (-3)	3/24 (-7)	3/30 (-3)	3/28 (-4)
平年 +1℃	3/28 (-6)	3/22 (-9)	3/27 (-6)	3/25 (-7)
平年 +2℃	3/25 (-9)	3/19 (-12)	3/24 (-9)	3/21 (-11)
平年+3℃	3/22 (-12)	3/18 (-13)	3/22 (-11)	3/20 (-12)
平年値	4/3	3/31	4/2	4/1
令和7年	4/3	3/31	4/2	4/2

予測には発育速度モデル(DVR法)を利用している。予測は南信農業試験場内の調査樹のデータをもとにした。

気象データはアメダス飯田の特別気温を用いた。

予測日の()内は平年との差を表す【-は平年より早く、+は平年より遅い】。

「平年値」は場内の平成13～令和2年(2001～2020年)の発芽日の平均を表す。